

竜王北中学校 学校関係者評価書（後期）

平成28年2月8日（月）
竜王北中学校関係者評価委員会作成

第2回 学校関係者評価委員会

実施日：平成28年2月8日（月）午後5時15分～

会場：竜王北中学校校長室

参加者：（学校関係者評価委員）

石合 廣光 中島 民雄 興石 寛 小尾 裕子

岡月 美和 小泉 洋子

（学校側）

清水 千春 興石 信 高橋 光明

I 学校側から提案された内容

- ・平成27年度自己評価書（後期）
- ・平成27年度自己評価シート集計結果
- ・平成27年度第2回生徒用アンケート集計結果
- ・平成27年度第1回保護者用アンケート集計結果

II 協議された主な内容

- ・平成27年度自己評価書（後期）が本校の実態を踏まえ、改善策が示されているかについて
- ・本校の教育活動についての質疑とそれに対する意見および今後の改善内容について

< 学校関係者評価書 >

I 全体評価

- ・肯定的な回答（Aそう思う Bややそう思う の合計）が45項目中39項目で90%を超え、前期に引き続き、教職員が高い意識で教育活動に取り組んでいる。
- ・本校のオリジナル項目としている「習得した知識・技能を活用する授業」、「小中連携を生かした教育活動」、「読書に積極的に取り組むような指導」、「学校行事に進んで取り組むような指導」、「学習強化週間等を活かした指導」、「生徒が発表活動に主体的に取り組むような指導」については肯定的な回答が90%を超えている。
- ・肯定的な回答が80%を下回る項目は、「個に配慮した授業」、「地域の人材や地域の教育力を生かす指導」、「保護者・地域の願いを聞く等、情報収集の機会の確保」の3項目のみであった。
- ・以上の点から、平成27年度自己評価（後期）については、概ねこの通りでよいと考える。
- ・提示のあった改善策・手立てをより具体的なものとして実行して欲しい。

II 特 徴

- ・後期のアンケート結果や学校開放日等で学校を訪問した折の生徒の授業や行事に取り組む様子から、前期にも増して、生徒が前向きに学校生活を送っている様子が伝わってきた。また、教職員が教育活動に高い課題意識を持ち、生徒指導や学習指導、基本的な生活習慣や家庭学習の定着に、日々、向上心をもって取り組んでいる様子がかがえた。さらに、一人ひとりの生徒の特性や家庭環境等に応じた対応を心がけていることも実感として伝わってきた。加えて、生徒と教職員が信頼関係を構築しながら、生徒を温かく迎える雰囲気が学校として醸成されていることも強く感じた。本当にありがたいことである。
- ・竜王北中の生徒は、本当に行事に一生懸命に取り組む。感心するばかりである。学園祭で全校が一体となって盛り上がる姿や小中連携公開研究会での職場体験発表の堂々とした態度、内容や表現の質の高さにはとても驚いた。生徒たちが着実に成長をしていることを実感した。これも、日頃の先生方の指導の成果だと思う。今後も継続して行ってほしい。
- ・本校の卒業生が進学先の高校で悩みやトラブル等を抱えた時に高校の担任にいち早く相談したことで事態が深刻化せずに解決に至ったという事例がある。これも中学校時代に竜王北中の先生が生徒との良い関係を築きつつ教育活動を行った結果、「教師とは信頼できる存在である」という教師に対する肯定的な価値観が子どもの中に育てられたからだと思う。今後も、一人ひとりに寄り添った指導や支援を続けていってほしい。

III 今後の課題として意識されたいこと

- ・様々な特性や複雑な生育環境や家庭環境をもった生徒が存在する状況の中で、学習・生活の両面において、個に応じた支援が必要となってきた。こうした中、市から支援員を一人配置してもらっていることで、不登校傾向の生徒への家庭訪問による始業時の登校支援等に役立っている。ただし、不登校傾向や虐待、ネグレクト等の問題により、本人や家庭への関わりがより必要なケースが増加傾向にある中、現在の教職員数では対応が難しい状況にある。県にも要望しつつ、市にもぜひ、「学校規模に関わらず、支援員の2人配置」をお願いしていくことも必要であると思う。
- ・年々、双葉の下今井横町地区からの通学者が増えており、今後もその傾向は続くと思う。横町地区の生徒はドラゴンパーク方面から見通しの悪い急坂を上り下りして登下校している。この坂は街灯が少ない上に照明も暗く、下校時は交通事故や不審者の遭遇の可能性など危険がある。自治会でもLED照明の設置をお願いしているところだが、地域・学校・PTAが連携して市や市教委に要請活動を行い、子供たちの安全確保に努めていく必要がある。また、他の地区についても、通学路、特に下校時や夕暮れ以降の防犯上の危険箇所等を、生徒にアンケートをとるなどして実態把握をしてほしい。その上で、関係機関との連携を取りながら、危険防止の方策を検討してほしい。
- ・今回の評価委員会を通して、日々、竜王北中の先生方が生徒たちのために頑張っていることを再確認できた。地域に住む者としてありがたい限りであるが、その一方で、働きすぎによる過度のストレスの蓄積や健康への影響も心配である。ぜひ、計画的に定時退勤日を設ける取組やなるべく早く仕事を終えて帰宅できるような学校体制や組織づくりをさらに進めてほしい。

記載責任者（竜王北中学校 学校関係者評価委員長） 氏名：石合 廣光 印